

ファーム伊達家からのおたより

ようこそ畠へ

2008年9月9日(火),11日(木)VOL.13

枝豆が採れ始めました。まずは、黒豆の枝豆からお届けしています。枝豆は大豆を若いうちに食べるものです。一般的には枝豆用の品種があり、数多くの種類が販売されています。伊達家では、枝豆用の品種も少しだけ作っていますが、主に黒豆、大豆、青大豆を枝豆として利用しています。同時に種まきすると、枝豆としての収穫時期が少しずつずれるので、長くいろんな枝豆が楽しめるよう、そうしています。

たくさん播いて一部を枝豆として食べ、残りはそのまま畠で育てて、10月に豆として収穫して翌年の種に使っており、いずれもメノビレッジでの研修の時から種採りを続けてきました。

枝豆の段階では、どれも緑色をしていますが、熟するにつれて色が変わっていきます。黒豆は、まず紫色になり、葉が枯れ落ちて豆が熟してくると黒くなっていき、形は乾燥するにつれ球形になっていきます。

あたりまえのことですが、黒豆を播けば黒豆が収穫でき、青大豆は青大豆に、大豆は大豆になり、種としてちゃんと次の世代に命をつないでいきます。あの小さな種から、根が出て、芽が出て、茎が伸び、葉が開いて、花が咲き、実があり、種が採れ、来年に続き、ひいては10年後、20年後につながっていくのです。それを考えると種というのは、本当にかけがえのないものだと思います。